



会報

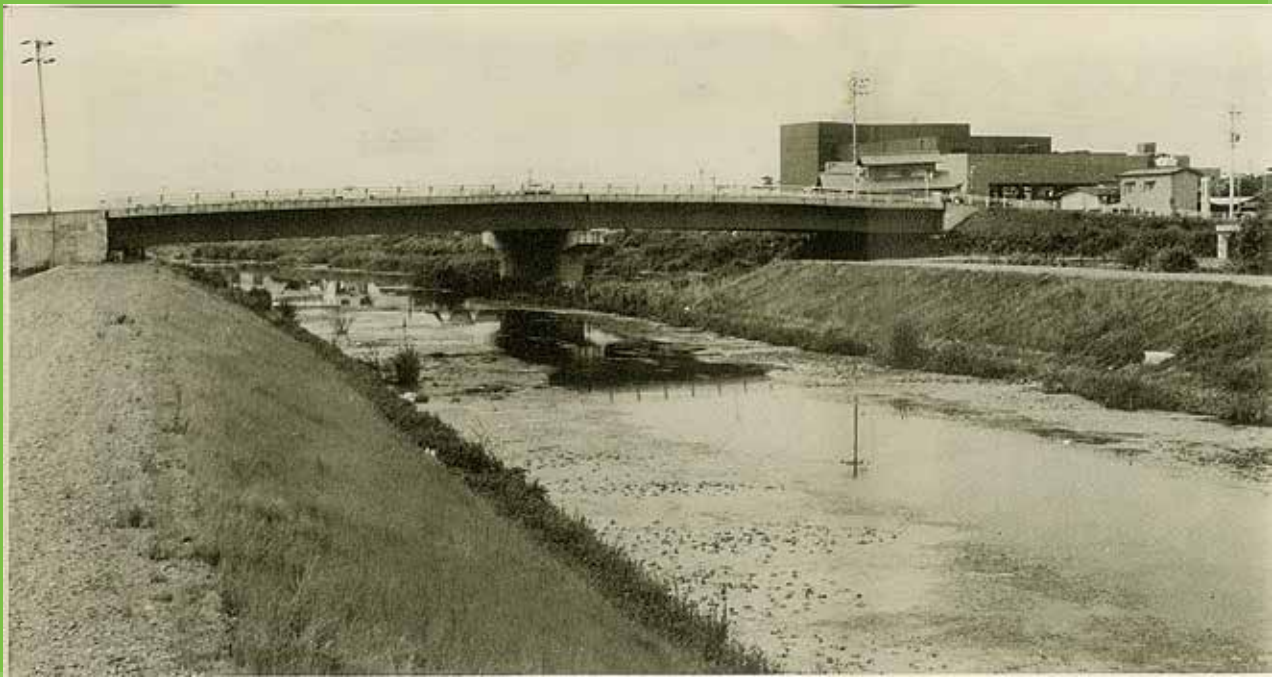
# つちおと

第132号

平成26年12月

明治・大正・昭和期の建設工事写真シリーズ (写真提供・施工/株式会社堀内土木)

## 今之浦大橋架橋工事(磐田市今之浦) 昭和51年12月完成



当時今之浦大橋は市内では最大の橋でした。

### 完成記念式典の様子



今之浦大橋によせて  
磐田市として、最大の橋梁(斜橋、延長70.22m、巾員18.0m)を無事施工できた事を喜んでおります。

思えば着工昭和50年7月より、竣工昭和51年12月まで、1年半の間、工費153,300,000円にて、今之浦低湿地帯の地盤に挑戦、建設業者としては難工事を強いられ、又、2回の集中豪雨にも見舞われ、一時は断念するほどでした。

設計者の技術と、県及び市監督員の指示を守り、先輩諸氏の指導を得て研究に当たり、当社として最大の誉れである『今之浦大橋』が立派に完成することができました。

工事監督

(株)堀内土木「30年のあゆみ」より



つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

ご応募いただく際お預かりする個人情報は、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

大募集!

掲載の方には  
2,000円分の  
図書カード  
進呈!



FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION

(一社)袋井建設業協会





石原茂雄 御前崎市長

# 対談

## 石原 御前崎市長 岡野 袋井建設業協会長



岡野良隆 袋井建設業協会長

海と緑と笑顔がきらり輝く「御前崎市」に向け精力的に歩む石原市長と、地域の安全・安心のための建設産業であり続けたいと願う岡野協会長が、建設産業のあり方や期待、防災・減災等をテーマに、10月7日(火) に対談を実施しました。

### 建設産業の実状について

本日は、お時間をいただきましてありがとうございます。袋井建設業協会が発行しております広報紙の中で、昨年度から管内市町の首長様のインタビューを行ってきました。今回は御前崎市の石原市長にご登場いただきました。よろしくお願ひします。

では、初めに建設業界の現状について、岡野協会長にお話していただけますか。

「会長」 建設の現状については、建設投資は、平成8年頃の約80兆円をピークとして、減少を続け、現在約半分の約40兆円となっています。また、ピーク時に約680万人いた建設従事者も、現在は490万人まで減少しています。若者が入ってこないことや長引く建設不況で離職者が多いことが原因です。年齢構成も二十代は全体の約10%に留まっている一方、五十歳以上が35%となっており、将来に非常に不安を感じています。このような状況への対策として、「建設業の品質確保の促進に関する法律」いわゆる品確法を含む担い手3法が6月に改正され、9月には品確法基本方針や入札契約適正化指針の改正版が閣議決定されました。これからの業界を背負って立つ若い担い手に、業界に入っていくために、なおかつ安定的な生活ができるように政府も施策を進めています。東日本建設保証の調査で管内二十三県の中で静岡県は総資本利益率が最低となっており、県内の業者は大変厳しい経営環境にあります。若い社員を新たに雇い入れることが

できない状況が続きました。私達建設業協会も若者にもものづくりの楽しさを仕事の中で吸収してもらおうような策を講じていかなければならないと同時に、建設業に対するきつい、汚い、公共工事が悪いといったような世間一般のイメージを払拭しなければならぬと考えています。同時に、技術力を向上させ、技術を若者に伝承・継承させていかなければならないとの考えのもと、活動にも力を入れているところです。また、地元の方々にも建設業に対する理解を深めていただきたいと思います。

会長から建設業の現状についてお話頂きましたが、市長から建設業についての意見を伺えますか。

「市長」 平成の初め頃は、建設ラッシュの時期があり、様々な施設を作り、建設業界にとっても多忙な時期がありました。しかし、その後の景気低迷、リーマンショック、政権交代などもあり、「コンクリートから人へ」といった言葉に象徴されるように、建設に対する考え方も変わっていききました。平成十六年に御前崎町と浜岡町が合併し、御前崎市が誕生しました。それに伴い、同じような施設が2つあるといった公共施設の在り方の問題が浮上しました。例えば、市の規模を考えると、現在旧御前崎町の庁舎を支所として使用していますが、支所が必要なのかという意見があります。今後、多くの公共施設が何年使用できるか、何年後には解体していかなければならないかなど、様々な観点から検討を進めています。

東日本大震災以後、橋梁の補修や街灯の設置を進めてきましたし、今後も続け

全を確保するために、市有地のどこに埋めればよいのかなど、万が一発生した際には、建設業者の皆さんに重機の手配や操作、作業などをお願いし、徹底した対応が必要だと思っています。有事の際は、建設業界の皆さんとしっかり連携しながら対応できればと考えています。

災害時や家畜伝染病への対応のお話がありました。市としての防災、減災への取り組みについてお聞きします。

「市長」 一人でも多くの市民の命が助かれればと津波避難タワーは西部地区でも早く整備しました。このほか、「地域にある山を避難場所として整備したいので予算を確保してほしい」といった話があり、命山のようなものを整備した場所もあります。また、白羽地区では避難地として利用しようとする山が低いところがあり、現在盛土を行っています。それから、合戸地区には砂山が二つあり高さが十二、十五メートルあるために整備をする必要がないと判断しました。近隣で砂を採取している業者さんがいましたが、防災上の観点から採取した際には盛土をするか、セメントで高さを確保するよう指導しています。また、地震、津波からの避難にあたって、橋梁が破損していたら、避難できないため、橋梁の補修を優先して進めています。道路についても、どれを優先して避難路として整備していくのか、また、市内だけ整備しても近隣市町と繋がっている道路でなければ意味がないので、県と連絡を取りながら進めていきたいと思います。津波に対しては、150号線から北は津波の浸水域ではないので、150号以南の方の命をどのよ

うに守っていくかが今後の課題です。また、新野川や箆川の河口から津波が遡上してくることも考えられるため県と協議しながら対応していきたいと思ひます。海岸線の盛土についても全て市の予算で行うことは難しいので、方策を考えなければならぬと思ひます。港については、港の周辺に住んでいる方々の中には、高台に農地がある方も多く、そこに移転したいとの要望もありますが、農地法の関係で県から許可がおりない状況があり、こちらも考えなければならぬ問題です。

「副会長」 学校など文教施設の耐震補強についてはどのようにお考えですか。

「市長」 市内の学校の耐震化は全て終わっています。しかし、一部の体育館の天井について、落下の可能性が考えられるため、今年度と来年度の予算で落下防止の整備を行います。浜岡中学校については、耐震化は完了していますが、老朽化のため将来的に建て替えるを考えています。また、牧之原と御前崎の組合立である御前崎中学校については、ゆくゆくは牧之原市と協議を進め、保護者の方々の意見を「いただきながらどのような形にしていくかを考えていかなければならない」と思ひます。

「会長」 建物のほかにも、建設業協会は、災害時に道路啓開も行うことになっていきます。自衛隊が来るまでの間、道路上のガレキの撤去を行うための重機や燃料の手配をするなど、協会、市町の組合も迅速に対応することができ体制をとっています。

「市長」 局地的な災害も想定して、地元組合だけでなく、袋井建設業協会さんにもご指導、ご尽力いただきたいと思います。

ています。また、浜岡福祉会館につきましては、老朽化から新年度予算に整備の調査研究をしていきたいと考えています。また、市内に二つある給食センターについても、できれば一つにしていこうな方向を考えています。いずれにしても、行政と業界とでお互いに情報を共有し、業者の皆さんの技術や能力を発揮していただく機会を提供できるように配慮していくつもりです。



●今後の耐震補強について話を聞く戸塚副会長(右)と古山建設業協会事務局長(左)

「市長」 ゲリラ豪雨や竜巻、火山の噴火など自然災害が多発しています。二方、いつ発生するかわからない家畜伝染病への対応も重要なことだと思ひます。市民の安

「会長」 建設業協会は災害時の協定はもちろんのこと、鳥インフルエンザや口蹄疫など、家畜伝染病に対する協定も結んでいます。鳥インフルエンザが発生した場合七十二時間以内は全ての感染した可能性のある鳥を埋却処分することになります。県下十協会が静岡県と協定を締結し、行政と良きパートナーとして地域を守る意識で活動をしています。

「市長」 各自自治体でそれぞれの制度で入札を行っています。6月に品確法を含む担い手3法が、改正されました。その中で発注官庁の責務が盛り込まれました。適正な価格での発注を行うことで、業者の経営の安定と担い手を育成できる経営環境の確保などを目的としています。

「市長」 若者が、建設業界に対して将来の見通しが立たず、魅力を感じないことで、業界に入ってくれないという状況が続けば、中長期的には、建設工事の担い手が不足することが懸念されます。また、建設投資の急激な減少や受注競争の激化に伴い、いわゆるダンピング受注が横行すれば、労務費のみならず、品質の確保にも影響がでてくることも心配です。

今回改正法に明記された「発注者の責務」を踏まえ、目的や基本理念に沿った発注を行えるよう努めてまいります。

本日はありがとうございました。



●司会は、西島正浩協会広報委員長(右端)



# 広島土砂災害、建設事業者はどう動いた!?



八木地区

## ■被害の状況

八月二十日未明、広島市安佐南区と安佐北区では局地的豪雨により、土砂崩れや家屋の流失が相次いだ。最終的には、人的被害は、死者74人、重軽傷者44人、住家被害は、全壊174件を含め損壊430件、床上浸水2,828件、床下浸水4,559件に上った。

国によると、過去30年間の土砂災害による犠牲者数では最も多いという。被災後は、中国地方整備局、県、市とも直ちに災害対策本部を立ち上げ、人命最優先で活動することとした。つまり、安否不明者情報に基づく警察、自衛隊や消防の捜索・救助活動が最優先であったため、応急復旧活動は被災の周囲から手をつけることとなった。

こうした中で、被災直後には、周辺の地元建設業者が自主的に土砂撤去に取り組み姿も見られたという。

災害協定に基づく派遣要請としての第一弾は、八月二十七日に県から県建設工業協会（広島は県協会のみ）に対して、建設機械（3tから4t）の保有状況についての最新情報の提供依頼であった。

次いで、九月四日には、いよいよ道路路啓開作業実施可能な建設業者の情報提供依頼となった。

これを基に、国道事務所や河川事務所、県や市から会員企業に対して出動要請がスタートし、これから本格活動として、会員企業は道路路啓開や復旧、土砂撤去、河川復旧等に取り組みこととなった。

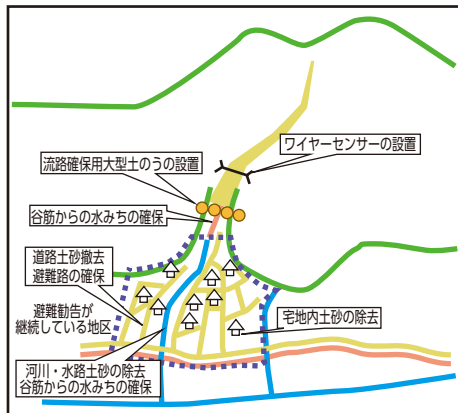
そして、応急復旧活動が山場を越す九月十日までに、県協会会員企業29社は、述べ8,401人が出動、重機は述べ4,393台を投入して懸命の活動にあたった。

こうした尽力もあり、十月二十日には、土石流に見舞われた安佐南区と安佐北区の応急復旧工事は九割以上が終わり、市は避難勧告をほぼ全域で解除した。

今後は、国と県では、被災の著しい箇所や緊急点検の結果を踏まえ、対応方針が決定した箇所から順次砂防堰堤等の砂防・治山に関する緊急事業を実施することとしている。九月十九日には、国交省砂防事業24箇所、農林省治山事業10箇所、県では砂防事業7箇所、急傾斜事業4箇所、治山事業12箇所が第一弾として発表された。また、十月二十日には、林野庁が治山ダム整備と斜面補強について事業採択を発表している。

また、今回の土砂災害を受け、十二月十二日、改正土砂災害防止法が成立した。重点対策を講じる警戒区域の指定を促すため、指定のための基礎調査の結果公表を都道府県に義務付けるのが柱で、これにより、広島市の今回の災害現場の多くが未指定で、これが災害拡大を招いたとの批判や、全国的に指定作業が進まない現状を踏まえ、国の関与を強める方針だ。

## ■応急復旧計画のイメージ



## ■急傾斜地崩壊対策事業のイメージ



※被災箇所が59箇所であり、調査の結果、対応が必要なものについては対策工事を実施

## ■取材を終えて

自然災害の恐ろしさを目の当たりにし、改めて広島土砂災害の被害の大きさを肌で実感し、本当に言葉がませんでした。

袋井建設業協会では、静岡県との災害協定を結んでいます。今回の宮川興業さんの話から、「災害」という事を考えると、「横のつながり」の重要性がより強く感じられ、地区協会や組合の役割を改めて感じる事が出来ました。災害が発生したら、どこに連絡をすればいち早く対応できるのか？対応する業者の調整または応援依頼がスムーズにできるのか？連絡体制があるとないのでは大きな違いです。「スピード」が一番大事です。また、災害時に機能するよう訓練を行うことや、業者の配置バランス等を含めた内容を見直し、静岡県との連絡指示の方法や体制の取り決めをするのも必要だと感じます。大きな災害ほど直接国から市町等への連絡や指示など、行政の枠を超えた臨機応変の対応が必要になってくると思います。

今回の貴重な情報を協会員に発信し、より強い体制を作れることが出来れば良いと思います。(MK)



クレーンによる作業(夜間)



潜水士による、流木撤去(夜間)



8月21日 高瀬堰流木撤去

写真提供 宮川興業(株)



八木三丁目11番付近



8月28日 八木用水土砂撤去

今回の視察に際し、災害発生現場の現地案内をしていただいた、広島市安佐南区の宮川興業(株)さんから、災害発生前日及び当日の社内対応、最近までの応急復旧作業の話など、とても貴重な話を伺うことが出来ました。



左から宮川興業(株)小谷部長、宮川社長、宮川常務、建設業協会西島広報委員長、松下副委員長

## ■宮川興業(株)さんのQ&A

Q 被災前日の御社の対応について

A 当社では6班(1班は3名の当番制)による体制をとっており、大雨・洪水警報発令により集合要請22時30分に4班の3名が集合し、23時30分頃に大雨・洪水警報解除により一時解散

Q 初動体制(連絡体制)について

A 広島県では、広島県建設工業協会という「県」単位での協会組織はあるが、地区単位・地域単位での協会等の組織はなし

Q 初動体制(出動要請)について

A ■自社施工の長楽寺現場より応援要請(8/20 3時頃)  
■国土交通省より、高瀬堰のゲートが閉まらない為、流木撤去の依頼(潜水士による夜間作業)

Q 出動要請(応急復旧)に対する対応について

A ■区役所より直接近隣の建設業者へ出動要請  
■依頼があった順に対応する為、依頼が多すぎて対応しきれない状態だった

Q 応急作業のための重機及び作業員等の確保状況について

A ■目社の作業員、協力会社による対応  
■国土交通省は、近隣で国土交通省が所轄する仕掛り工事を時中断して、ゼネコンはじめ下請関連の建設会社が災害対応に回ってくれた  
■使用建設機械、仮設材はリース会社から調達(土日、夜間も対応してもらった)それぞれ地区、各社の調達員合にも差があり、当社と同規模の会社でも、災害用に重機や資材を調達することが困難だった

A ■国土交通省が管理する河川敷に、土砂仮置き場として使用させてもらうことが出来たのが大きかった  
■国土交通省は、災害対応の経験や実績、ノウハウがある為よりスムーズに対応出来た連絡体制に関しては、窓口を1社、行政の担当者1名を付けての対応だった為、連絡又は指示がスムーズに行えた

Q 応急復旧作業について

A ■中学校の水路土砂撤去、倒木撤去、法面保護  
■高瀬堰の流木撤去  
■八木3丁目道路土砂撤去、八木用水の土砂撤去



街の おすすめ

旬彩酒房 杏(あんず)



女将さんの南 幸江さん

忘新年会には是非!!



今回ご紹介する街の おすすめスポットは、袋井駅前通りから一本中に入った隠れ家的な

居酒屋の旬彩酒房 杏(あんず)です。「主人の友人たちが気楽に集うところを造っちゃおう。」って事がきっかけで、このお店を開いて5年になるそうです。お料理や店内の様子を見ればわかるように店のうりは家庭的な雰囲気です。宴会や女子会にもってこいのお店です。「海の幸や山の幸、色んなお酒(日本

協会活動報告

平成26年 7月～10月

理事会

- 7/2(水) 第2回理事会
今後の協会事業運営の方向について
袋井土木事務所・中遠農林事務所との意見交換会の実施時期について ほか
9/8(月) 第3回理事会
公共工事必要箇所調査結果と提案の実施について
道路愛護：河川美化活動の報奨金の配分について ほか
10/1(水) 第4回理事会
袋井土木事務所・中遠農林事務所との意見交換会の実施について
新年のこの日の開催日程について ほか

委員会等

- 労務委員会
8/26(火)～28(木) 磐田農高生インターンシップ 実習生15人 受け入れ会員7社
安全委員会
9/24(水)・25(木) 創立50周年記念全国防災大会 10名参加
9/30(火) 官民合同安全パトロール (磐田労働署・袋井土木事務所) 技能講習講師団第2回打合せ会

技術講習講師団第2回打合せ会

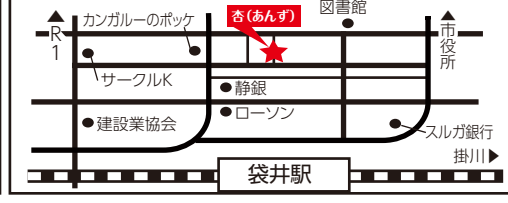
酒、焼酎、梅酒等々をご用意してご来店をお待ちしています。いよいよ忘新年会のシーズンですので、是非一度寄ってみてください。スタッフ一同お待ちしております。」と女将さんが笑顔で答えてくれました。先月末に新しくなった袋井駅からも歩いて5分足らずです。袋井にお越しの方、袋井にお勤めの方、そしてこの街の人もお店は夕方5時からやりますので、お気軽に寄ってみてください。



おすすめ料理



動きものの看板娘 恵美ちゃん



旬彩酒房 杏(あんず)
電話0538-42-0053
袋井市高尾町14-1
17:00～24:00(ラストオーダー23:20)
月曜定休 宴会は40名まで対応可能

- 広報委員会
8/1(金) 広報誌「つちおと」第13号の発行
10/7(火) 御前崎市長と会長との対談(つちおと取材)

- 技術委員会 土木部会
7/24(木) 第2回技術者講習会
8/19(火) 第12回親子現場見学会(浜松市沿岸域防潮堤)



- 環境・災害対策委員会
8/12(火) 西部家畜保健衛生所の鳥インフルエンザ等防疫対応説明会 35社 57名受講
8/27(水) 静岡県総合防災訓練西部方面本部運営訓練(西部危機管理センター)へのリエン(連絡・連携要員) 派遣4名
10/30(木) 静岡県鳥インフルエンザ防疫講習 視察 3名

- NDP部会
7/22(火)～8/21(木) 道路愛護河川美化活動管内4市1町

道路愛護河川美化活動管内4市1町

建設業界の皆様へ
建退共への加入のすすめ
福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です
建設業界の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与!

50周年 建退共
ひとり一人の未来を支える。
建設共済は建設業で働く労働者のための退職金制度です。

- 9/11(木) 公共工事必要箇所の提案(県) 袋井土木事務所24件
(市町)御前崎市7件、菊川市4件、掛川市5件、磐田市2件、袋井市5件、森町4件、御前崎港管理事務所1件
9/29(月)森町、10月6(日)袋井市へ中間折込金保証制度導入の要望
9/17(水) 協会員による献血運動 献血者45名 受付者49名
会員の表彰
次のとおり、会員が表彰されました。おめでとうございます。(敬称略)
(1)優秀施工者 国土交通大臣顕彰 藤原茂伸 (株)増田組
(2)静岡県優秀施工者 知事褒賞 大石広明 塚本建設(株)
山本佳彦 (株)川島組
(3)静岡県交通基盤部 優良建設工事等表彰(部長表彰)
優良技術者部門
河原崎篤 (株)大浜中村組
杉山大一 (株)小原組
袋井土木事務所
袋井土木事務所
優良工事部門
正光建設(株)
(株)大浜中村組
石川建設(株)
優良技術者部門
松井 貢 (株)若杉組
森下文規 (株)若杉組
久米優司 (株)大浜中村組
阿形嘉博 (株)大浜中村組
小塚尚生 (株)大浜中村組
八木 優 (株)三井組
西嶋隆史 (株)藤本組
野中敏弘 (株)アキヤマ
花田 剛 (株)鷹宗建設
大塚妃敏 (株)小原組
赤澤勇次 (株)樽林組
優良技術者部門
丸明建設(株)
優良技術者部門
北川 勇 (株)大浜中村組
谷高洋一 (株)アキヤマ
小塚尚生 (株)大浜中村組
地域貢献部門
(株)若杉組
平野建設(株)
御前崎港管理事務所
優良工事表彰
(株)三井組
(株)落合組
(4)建設共済静岡県支部長表彰
(5)国土交通省・建設産業人材確保育成推進協議会
私たちの主張
佳作 小島隆之 (株)藤本組





# 安全の道しるべ

官民合同パトロール

実施日 9月30日(火)  
 参加者 8名  
 監督署1名・袋井土木3名  
 安全指導員4名  
 実施箇所 2箇所  
 磐田地区(土木2箇所)



実施日 10月29日(水)  
 参加者 8名  
 中遠農林5名  
 安全指導員3名  
 実施箇所 2箇所  
 袋井森地区(土木2箇所)



《磐田労働基準監督署よりメッセージ》

**建設業において労働災害が増加中!**

**STOP 労働災害**

墜落・転落及びはさまれ・巻き込まれによる労働災害を防止するための点検・対策の徹底・安全衛生教育に取り組んでください。

《安全指導者からのメッセージ》

細かい法改正などの情報を共有することで安全意識を高めよう!  
安全第一!

これいい~ねっ!

現場事務所廻り状況・安全掲示板確認…良好



現場事務所内の整理整頓…良好

すくなそう!!

問詰用土砂を堤防上に仮置きしているため、作業用通路の確保がなされていない。(安衛則540条)



足場に作業通路等の表示はしているが、最大積載荷重表示がされていない。(安衛則562条)

## 創立50周年記念 建設業労働災害防止大会

全国大会:9月24日(水)~25日(木) 於:東京国際フォーラム  
大会スローガン「一人ひとりが自覚して 築こう職場の危険ゼロ」

静岡県大会:10月17日(金) 於:静岡労政会館  
大会スローガン「安全で快適な職場づくりを目指して」



本部部长表彰受賞者

創立50周年記念大会は、全国から延べ5,500名が参加。参加者一同が危険ゼロの職場環境実現に努力することを誓った。  
安全委員会は視察研修を兼ねて11名が参加した。  
2日目は専門部会に参加した。

<功績賞>  
(株)永井組 森下 孝夫



静岡県支部でも創立50周年記念の労働災害防止大会が行われ、310名参加。(袋井分会より16名が参加)

支部長表彰受賞者

<事業場賞> 金原建設(株)  
倉見建設(株)

<功績賞>  
(株)増田組 落合 雅敏  
中山建設(株) 中山 智明  
(株)篤宗建設 大塚 俊雄  
丸明建設(株) 長谷山勝政

平成26年度安全標語入選

<佳作>  
(株)若杉組 松井 忍

建設業年末年始労働災害防止強調期間  
平成26年12月1日~平成27年1月15日

「無事故の歳末 明るい正月」